

甲南女子大学大学院
看護学研究科博士後期課程開設記念国際セミナー

From research to clinical practice

新たなエビデンスを構築する臨床還元型研究への挑戦

日時: 2018.5.12 (土)

10:30~17:30 (開場 10:00)

プログラム

逐次通訳・参加費無料

■ 基調講演 1

Current issues and trends in DNP program
米国のDNPプログラムにおける博士課程教育の
動向と課題

Michelle DeCoux Hampton

■ 基調講演 2

Developing the quality of interventional research
in doctoral education
博士課程教育における介入研究の質の担保

Michelle DeCoux Hampton

■ 教育講演

Significance and method of systematic review
エビデンス構築のためのシステマティックレビュー
牧本 清子

■ Michelle DeCoux Hampton先生による公開指導

From exploratory study to interventional research
探索から介入研究へ

論文提供者: 岡田弘美・小濱京子

場 所

甲南女子大学 832 教室 (8号館)
神戸市東灘区森北町 6 丁目 2-23
<http://www.konan-wu.ac.jp/access/>

申込方法

※当日参加可能

当日参加は資料不足の場合が
あります。ご容赦下さい。

参加希望者は、メールに①所属、②氏名
(グループの場合は代表者)、③参加人数、
④連絡先メールアドレスを必ず明記の
うえ、下記までお申込み下さい。
E-mail: kango512@konan-wu.ac.jp

主催: 甲南女子大学大学院看護学研究科



甲南女子大学大学院 看護学研究科博士後期課程開設記念国際セミナー

テーマ: From research to clinical practice

新たなエビデンスを構築する臨床還元型研究への挑戦

開催日時: 2018年5月12日(土) 10:30~17:30 場所: 甲南女子大学832教室(8号館3階)

講師: Michelle DeCoux Hampton氏

主催: 甲南女子大学大学院看護学研究科

牧本 清子 氏

【プログラム】

挨拶	10:30 ~ 10:40
講師紹介	10:40 ~ 10:45
基調講演 1	10:45 ~ 12:00
基調講演 2	13:00 ~ 14:30
講師紹介	14:30 ~ 14:35
教育講演	14:40 ~ 15:45
論文発表	16:00
/指導	~ 17:00
質疑応答	17:00 ~ 17:30

【講師紹介】

■ Michelle DeCoux Hampton氏 (RN, PhD, MS)

米国 カリフォルニア州 サミュエル メリット大学教授
博士課程DNPプログラム 部長

■ 牧本 清子氏 (RN, MPH, PhD)

甲南女子大学大学院看護学研究科教授, 大阪大学名誉教授
The Japan Centre for Evidence Based Practice 前センター長

【論文提供者】

■ 岡田 弘美氏 (東京医療保健大学 助教)

■ 小瀨 京子氏 (熊本大学大学院生命科学研究部 助教)

【基調講演概要】

米国のDNPプログラムにおける博士課程教育の動向と課題、看護研究における介入研究の質の担保、大学院教育、指導上の課題等について解説していただきます。新たな研究課題の発掘から論文作成までのプロセス、およびその後の介入研究への発展、さらには研究指導の在り方に関する最新知識を共有する機会になると思います。

【教育講演概要】

日本におけるシステマティックレビューの第一人者である牧本教授が、システマティックレビューの意義と方法を解説します。

【公開指導概要】

英文学術誌に発表されている博士・修士論文を元に、今度どのようなプロセスを経て介入研究へと発展させることができるのかについてMichelle先生に公開指導をしていただきます。

【通訳】

丸 光恵 (甲南女子大学大学院看護学研究科教授)

牧本清子 (甲南女子大学大学院看護学研究科教授)

【アクセス】大学周辺にはお店がございません。昼食は各自でご準備ください。

